

地 球 温 暖 化 対 策 実 施 状 況 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	公益財団法人名古屋みなと振興財団
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市港区港町1番3号
工場等の名称	名古屋港水族館
工場等の所在地	名古屋市港区港町1番3号
業種	生活関連サービス業、娯楽業
業務部門における 建築物の主たる用途	集会場
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	海獣類、魚類等の飼育研究及び展示
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

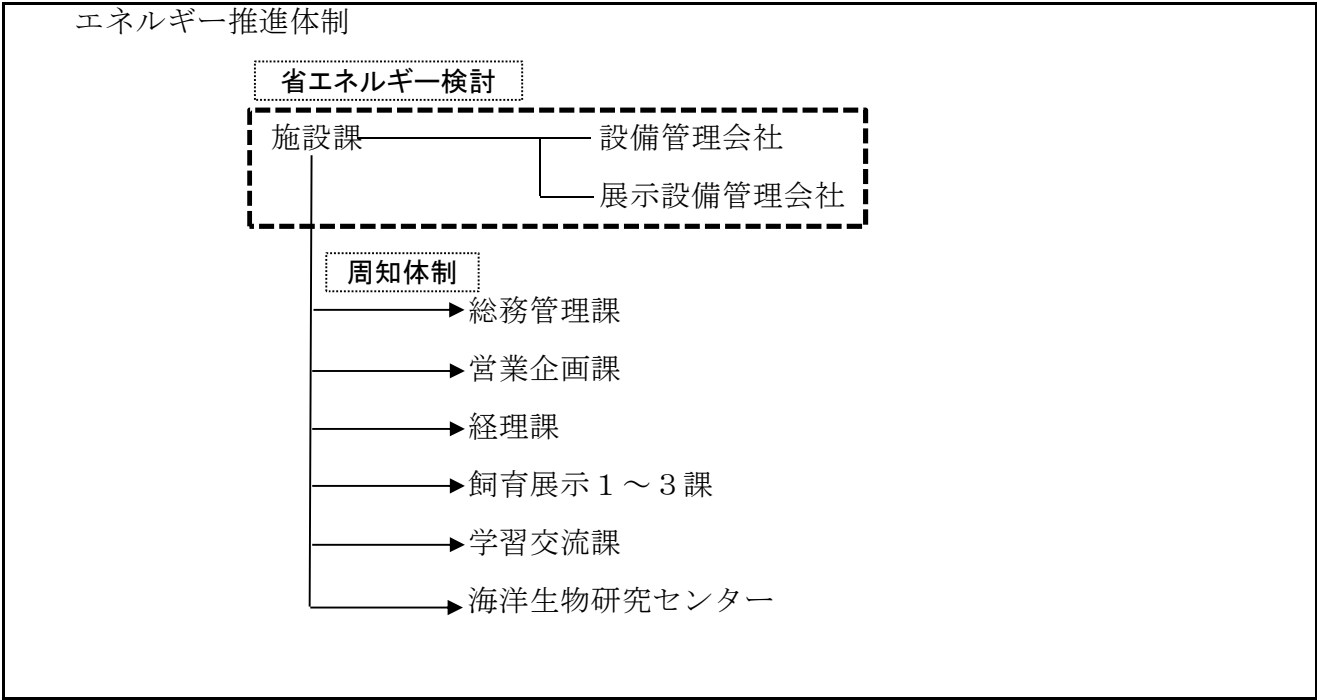
公表期間	令和6年5月7日 ～ 令和6年8月5日		
公表方法	○	掲示 閲覧	（場所）名古屋港水族館北館1階
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-654-9494		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動の電気、燃料等の省資源・省エネルギー活動を推進し、環境負荷の低減に努めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		7,567	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換排 算）出 量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	7,567	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量	7,139	t-CO ₂	6,924	t-CO ₂	7,410	t-CO ₂	7,567	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	▲ 3.8	%	▲ 6.0	%	%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの 排 出 量									
削減率（対 基準年度）				%		%		%	%
原単位あたりの みなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%		%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

令和2年・令和3年はコロナウィルスによる影響で温室効果ガス総排出量が減少したため、短期で見ると増加したように見えますが、通年でみると温室効果ガス総排出量は順当に削減できていると思います。それと昨年度は猛暑の影響でエネルギー使用量が増加したと思われます。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進	北館メインスタジオ照明更新 電力削減量：11,031kWh/年 原油換算量：2.8kL/年	令和4年施工予定	令和5年10月実施
省エネルギー・省資源の推進	南館エレベーター3台更新(EV NO.3・5・7) 電力削減量：23,398kWh/年 原油換算量：6.0kL/年	令和4年～令和5年施工予定	令和6年3月実施
省エネルギー・省資源の推進	全館（南館・北館・カメ棟・保管棟）照明器具更新(LED化) 電力削減量：－ kWh/年 原油換算量：－ kL/年 ※器具更新順序・範囲が不明確なため、省エネ効果試算不可能	令和4年～令和8年施工予定（5年かけて実施予定）	令和4年・5年実施（残り3年）
省エネルギー・省資源の推進	南館CU-2空冷ヒートポンプチラー（22kW）更新 電力削減量：6,781kWh/年（昼使用） 原油換算：1.7kL/年 カメ棟CU-10空冷ヒートポンプチラー（45kW）更新 電力削減量：48,846kWh/年（24時間使用） 原油換算：12.2kL/年	令和6年施工予定	令和5年5月実施 令和5年7月実施
省エネルギー・省資源の推進	保管棟HR-01-2ヒートポンプチラー（19kW）更新 電力削減量：8,186kWh/年 原油換算：2.0kL/年	時期未定	令和5年12月実施
省エネルギー・省資源の推進	保管棟南極水槽用冷凍機14台（0.75kW×9台、3.0kW×5台） 電力削減量：48,400 kWh/年 原油換算：12.1kL/年	時期未定	令和6年3月冷凍機7台実施（0.75kW×4台、3.0kW×3台） 残冷凍機7台（0.75kW×5台、3.0kW×2台）は令和6年実施予定
省エネルギー・省資源の推進	南館AP-2-1（3.2kW）、AP-4パッケージエアコン（5.5kW×2台）更新 電力削減量：16,034kWh/年 原油換算：4.1kL/年	時期未定	未実施
省エネルギー・省資源の推進	南館CU-1空冷ヒートポンプチラー（30kW）更新 電力削減量：9,938kWh/年 原油換算：2.6kL/年 カメ棟CU-4空冷ヒートポンプチラー（45kW）更新 電力削減量：20,908kWh/年 原油換算：5.2kL/年	時期未定	未実施
省エネルギー・省資源の推進	南館保安系変圧器更新（防災保安動力変圧器300kVA、防災保安電灯NO.1変圧器100kVA、防災保安電灯NO.2変圧器50kVA） 電力削減量：1,857kWh/年 原油換算：0.5kL/年	時期未定	未実施

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

令和5年度の取り組み状況 ①令和6年3月実施 南館RBR-3水冷式ブラインチラー(60kW×2台→45kWへ)、RBR-3フラインホ°ンブ°(5.5kW→11kWへ)更新→電力削減量：99,957kWh/年・原油換算：25.0 kL/年

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--